グロリア・スワンソン

Gloria Swanson

生年月日 1897/03/27
出身地 アメリカ／イリノイ州シカゴ
没年 1983/04/04
関連人物 ウォーレス・ビアリー（元夫）

【バイオグラフィ】

■本名はGloria Josephine May Swenson。父は陸軍大尉で、仕事柄フロリダやプエリトルコなどを転々として育つ。１４歳の時の叔母に連れられエッサネイ社のスクリーン・テストに合格。その６ヶ月後にはハリウッドへ赴きマック・セネットと共に“海水着美女”として多くの作品に出演。17年にはトライアングル社に移る。その後セシル・Ｂ・デミルに認められ「夫を変へる勿れ」を皮切りに瞬く間にスターの仲間入りを果たし、２５年の「ありし日のナポレオン」ではフランス滞在中、ホテルのワン・フロア総てを借り切ったほど。翌年には週給２万ドルという驚異的な出演料を獲得した。徹底した菜食主義を貫き、野菜の支払いだけで月１０００ドルを越えたなど、さまざまなゴシップが毎日のように新聞に載ったという。２６年には独立プロを設立。「港の女」、「トレスパッサー」でアカデミー主演賞候補となった。しかし次第に人気が低迷。事業にも手を出しながらも映画や舞台に出演し続けたが結局成功はしなかった。が、４８年にＴＶショーに出演した彼女を見たビリー・ワイルダーが、あの「サンセット大通り」に招き入れ、３度目のアカデミー候補になる。その後７４年の「エアポート’７５」で再び復活するなど、最後までスターへの執着を忘れなかった女優であった。結婚はウォーレス・ビアリーなどと計６回。８３年、老衰のために死亡した。

【フィルモグラフィ】

エアポート’７５（1974）	出演 :グロリア・スワンソン
恐怖の殺人蜜蜂（1974）	出演 :マリア・ヴァン・ボーレン
わが息子暴君ネロ（1956）	出演
サンセット大通り（1950）	出演 :ノーマ・デズモンド
空飛ぶ音楽（1934）	出演
完全な諒解（1933）	出演
今宵ひととき（1931）	出演
陽気な後家さん（1930）	出演
恋愛即興詩（1930）	出演
トレスパッサー（1929）	出演
クィーン・ケリー（1929）	出演
港の女（1928）	出演
五つの魂を持つ女（1927）	出演
野薔薇（1926）	出演
女王蜂（1926）	出演
当り狂言（1925）	出演
ありし日のナポレオン（1925）	出演
女心（1925）	出演
焔の女（1924）	出演
彼女の恋の物語（1924）	出演

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

兵営に咲く花（1924）	出演
蜂雀（1924）	出演
嬲られ者（1924）	出演
大陸に鳴る女（1923）	出演
放埒娘（1923）	出演
幸福の扇（1923）	出演
舞姫ザザ（1923）	出演
獣身を逃れし女（1922）	出演
巨巌の彼方（1922）	出演
黄金の篭（1922）	出演
白絹の女（1922）	出演
言はぬが花（1921）	出演
アナトール（1921）	出演
何故妻を換へる？（1920）	出演
人間苦（1920）	出演
瞬間の瞬間（1920）	出演
連理の枝（1919）	出演
夫を変へる勿れ（1919）	出演
男性と女性（1919）	出演
社交界（1918）	出演
犬の計ひ（1917）	出演
汽車中の花嫁（1917）	出演
恋の花火（1916）	出演
雨中の逃亡（1916）	出演
ボビーの危難（1916）	出演
借り子（1916）	出演
チャップリンの役者（1915）	出演

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.